

# 国登録有形文化財北海道知事公館 保存活用検討会(第1回)



令和8年5月21日(木)

北海道総務部イノベーション推進局財産活用課

## INDEX

- 01 構成員紹介・座長の指名 ..... 2
- 02 今後の進め方について ..... 4
- 03 エリア全体の一体的な活用に係る  
イメージについて ..... 6
- 04 知事公館の保存・活用方針について ---- 11



# 01

---

## 構成員紹介・座長の指名

---

- 構成員一覧



(敬称略、50音順)

所属・役職	氏名	分野
北海学園大学工学部建築学科 教授	石橋 達勇	公共施設(建築計画)
(一社)新渡戸遠友リビングラボ 理事長	小篠 隆生	建築意匠・改修・利活用
札幌市立大学デザイン学部 教授	椎野 亜紀夫	都市公園
北海道大学大学院工学研究院 准教授	野村 理恵	コミュニティデザイン
札幌市立大学デザイン学部 教授	森 朋子	景観・環境

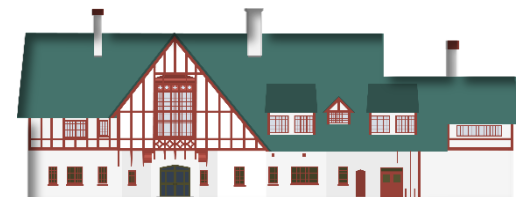
# 02

---

## 今後の進め方について

---

- スケジュール(案)



## ○開催回数

今年度は5回程度開催します。

## ○検討内容

下記を検討します。

### ●第1回

#### 【エリア全体】

- ・ エリア内の機能・役割

#### 【知事公館】

- ・ 文化財の価値
- ・ 保存・活用の方針
- ・ 環境保全の方針

### ●第2回

#### 【エリア全体】

- ・ 緑地・広場の考え方

#### 【知事公館】

- ・ 保存管理について
- ・ 活用について
- ・ 内装の再評価

### ●第3回

#### 【エリア全体】

- ・ 緑地・広場整備イメージ

#### 【知事公館】

- ・ 環境保全について
- ・ 防災について

### ●第4回、5回 とりまとめ

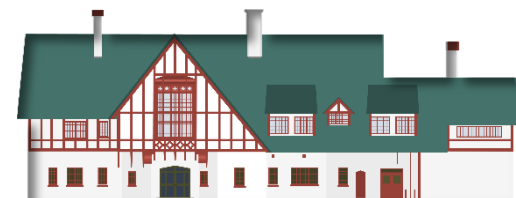
# 03

---

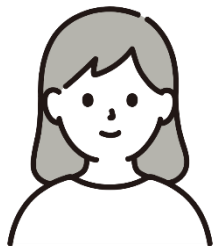
## エリア全体の一体的な 活用に係る イメージについて

---

- エリアに対する意見
- エリアに必要な機能
- エリアの目指す姿
- 共通コンセプト・エリアイメージ①
- エリアイメージ②



## 市民等の 意見



- 歴史性を感じる知事公館や近代美術館の建物と自然の一体的な風景を残してほしい
- 竪穴式住居がわかるようになると良い、歴史性をアピールすると学びにつながる
- イベント等によって知事公館・近美エリアの魅力を周知してほしい
- 小学校のときに知事公館の庭園で写生をした懐かしい思い出を残してほしい
- 気持ちよく安らげる、緑豊かな自然環境を残して欲しい
- 柵をなくすなど、もっと開放的で入りやすい空間にしてほしい
- 休憩スペースを充実してほしい
- 広場に遊具があるともっと子供たちが遊べる場があってよい 等

(資料源:R5・R6実施のWEBアンケート等)

## 道議会での 意見



- 一体化することによりエリアの魅力が向上し、価値向上へ繋がると考える
- エリア全体の魅力を高めていくためには、それぞれの施設の整備計画や活用方針の整合性を図りながら一体的な活用を進めていくことが重要

## エリアの目指す姿【知事公館・近代美術館エリア活用構想(R7.3策定)】

芸術や本道の歴史・文化を  
身近に体感できる空間

みどり豊かな自然環境が  
保たれている空間

誰もが心地よく過ごすことが  
できる交流と憩いの空間

## エリアに必要な機能

学ぶ・触れる・体験する・表現する・交流する・くつろぐ

### 施設等

### 機能を反映させたコンセプト

#### 知事公館

・建物の歴史的・文化的価値に触れ、北海道史の理解を深められる

#### 近代美術館

・国内外の優れた芸術や、自然の中で彫刻や建築を鑑賞できる  
・子供たちをはじめ誰もが心地よく芸術体験できる

#### 三岸好太郎美術館

・三岸好太郎の画業と若手アーティストの今を体感できる  
・児童生徒が芸術を通じた教育活動ができる  
・地域の芸術文化の発信

#### 緑地・公邸跡地

・原生林や湧き水(メム)と竪穴住居跡などの歴史を感じられ、北海道史の理解を深められる  
・自然を活かしたワークショップなどが実施できる  
・自然散策やバードウォッチングなどを楽しめる

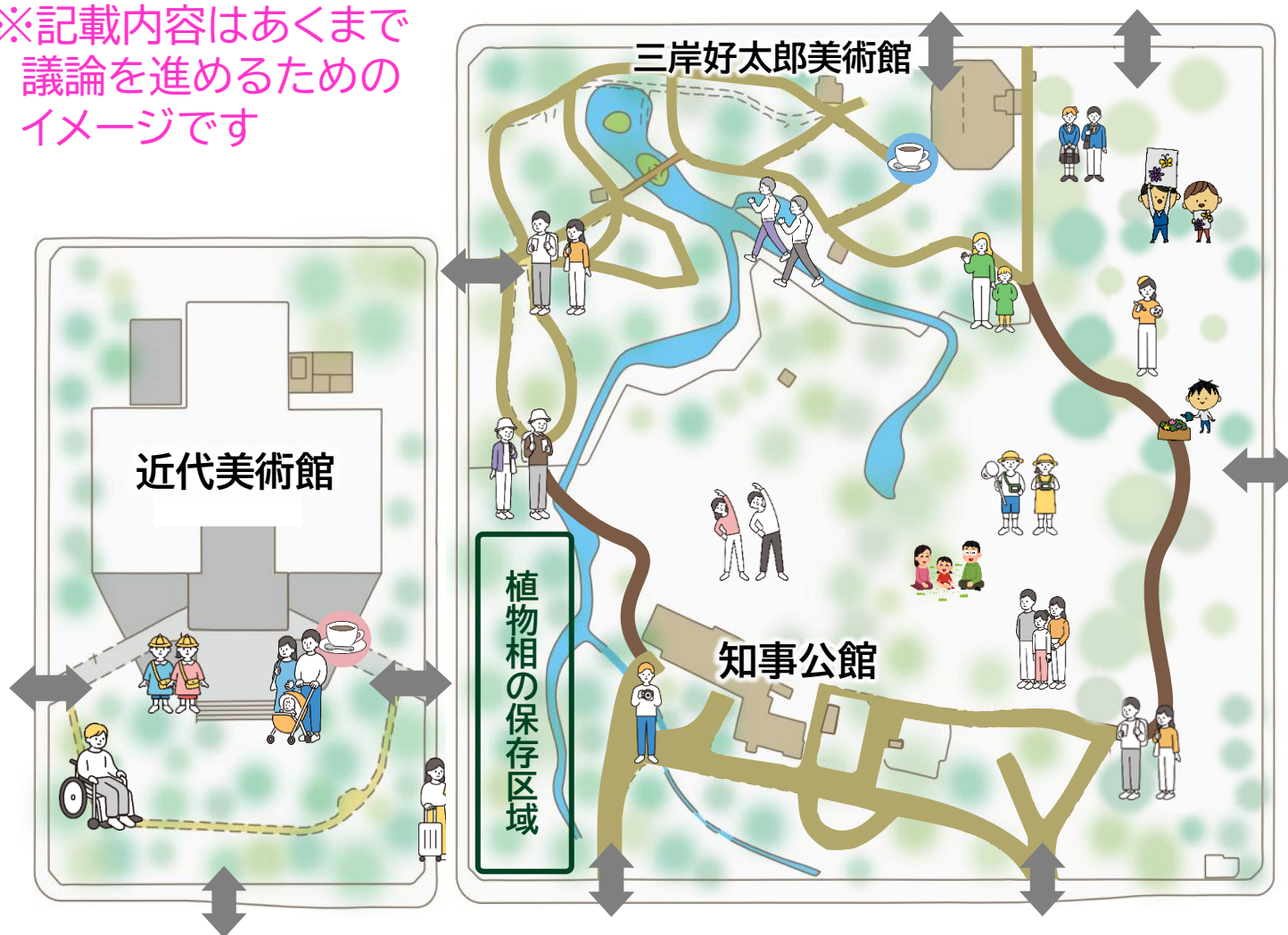
各機能がエリア全体でつながる共通コンセプトの検討が必要





歴史と芸術と自然を通じ、幅広い世代がともに過ごせる多目的空間  
～ 親しみをもってもらえるコンセプトイメージ ○○○○ ～

※記載内容はあくまで  
議論を進めるための  
イメージです



## 設備等の充実

- ① エリアを周遊しやすくする出入口の新設
- ② 緑地と知事公邸間の柵の撤去
- ③ エリアを散策しながら、史跡やアートを楽しむ遊歩道の新設
- ④ 散策を楽しむベンチ等の設置

## イベント等の充実

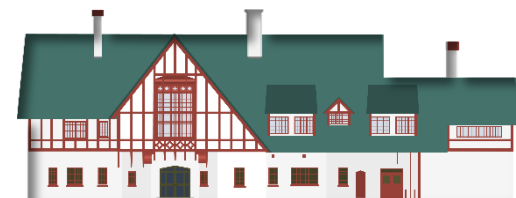
- ⑤ 屋外でのワークショップの開催
- ⑥ 屋外を活用したアートの展示
- ⑦ 学生や子どもと連携したアート企画

- 既存の周遊路
- 新設の周遊路
- ↔ 既存の出入口

# 04

## 知事公館の保存・活用 方針について

- 知事公館の価値・評価
- 知事公館を一般公開している他県の事例
- 現在の一般公開・非公開エリア
- 知事公館の活用状況
- 知事公館活用の課題



## 外観について

- 約5.6haの広大な敷地に建つハーフティンバーの建物。
- 当初三井家札幌別館新館として建てられ、昭和28年から知事公館となっている。
- 南北両面の切妻部には各々異なる意匠が施され、特に正面入口上部には四葉をあしらった大きな出窓が付けられている。【以上:文化財保護審議会の答申(H11.7.16)】
- 樹齢150年の大木など。歴史的に貴重な樹種が多く今後も保存すべき。(資料源:知事公館の庭)
- 手入れの行き届いた、目にまぶしい緑の芝生が一面に広がる。(資料源:札幌の建築探訪)

## 内観について

- 文化財保護審議会の答申には、内観についての記述はない。
- 昭和46年 内部改修工事【昭和天皇ご宿泊のため内部全面改修】
- 2階広間はオーリエルウィンドーで、合掌や梁材をそのまま化粧小屋組として露出。  
(資料源:札幌の建築探訪)
- 天井の梁はイシナラで、ドアも同じ材でかんなをかけていない。のこの目がついている。  
(資料源:語りつぐほっかいどう100年)
- 内装は道産の木材の風合いを活かし、様々な意匠が凝らされたシャンデリア。  
(資料源:三井広報委員会HP)



S46改修(2階寝室)



合掌の梁材(2階社交室)



シャンデリア(1階前室)



ドア丁番(2階居間)

現状の内観について、今後、専門家による調査を実施

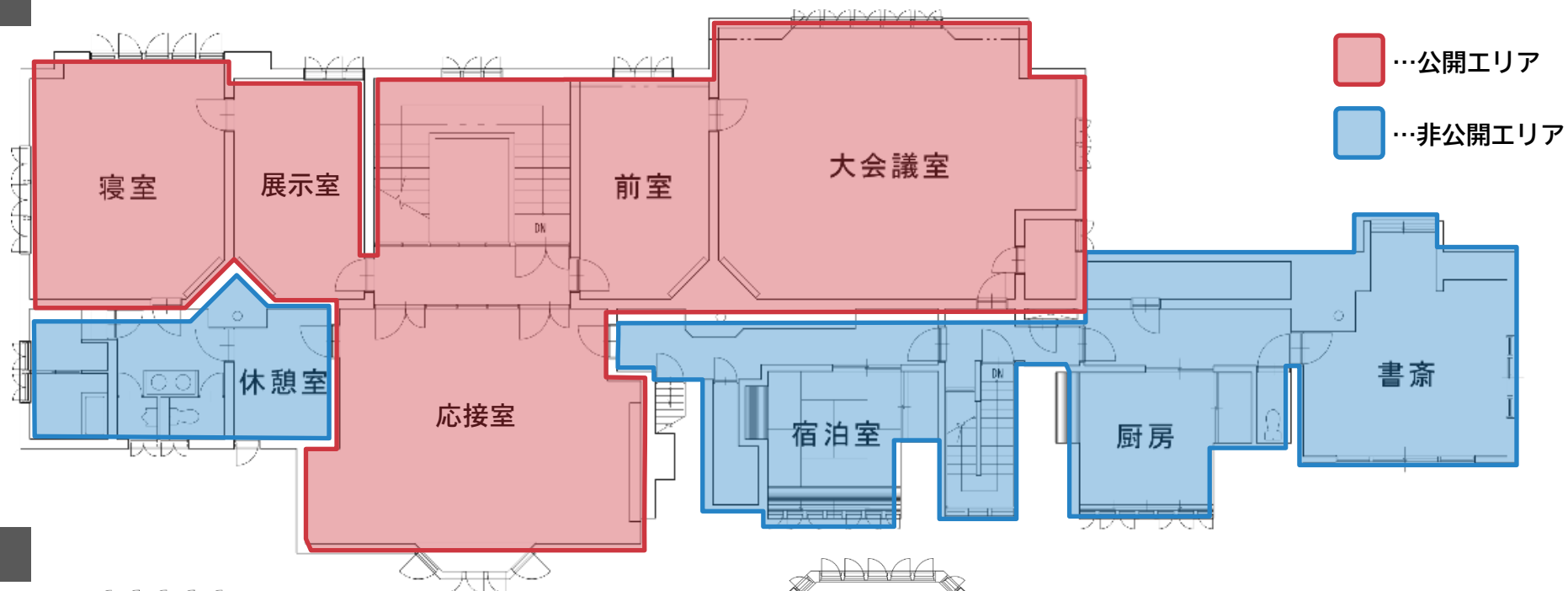


道県名	階数 延べ床(m <sup>2</sup> )	道県庁から の立地	使用用途 (◎主な用途)	文化財の登録	一般公開の開館日	行政利用時の 公開の可否	バリアフリー の状況
北海道	2階建て 734.02	1.3km	◎迎賓, 応接	登録有形文化財 (建造物)	平日及び 夏休み期間 (土日祝含む)	非公開	スロープ: あり EV: なし
宮城県	1階建て 472.99	1.2km	・迎賓, 応接 ◎民間利用	—	平日、土日 (完全予約制)	非公開	スロープ: あり EV: なし
栃木県	2階建て 1530.67	0.2km	・迎賓, 応接 ◎式典、会議	—	平日 (完全予約制)	非公開	スロープ: あり EV: なし
兵庫県	3階建て 9498.78	同一敷地内	◎迎賓, 応接 ・式典、会議	登録有形文化財 (建造物)	第2、4土曜日 (知事室は非公開)	非公開	スロープ: あり EV: あり
和歌山県	1階建て 307.74	同一敷地内	・迎賓 ・民間利用	—	日曜日	非公開	スロープ: なし EV: なし
佐賀県	2階建て 430.50	同一敷地内	・式典、会議 ◎民間利用	—	春・秋に一週間 (年2回)	非公開	スロープ: なし EV: なし

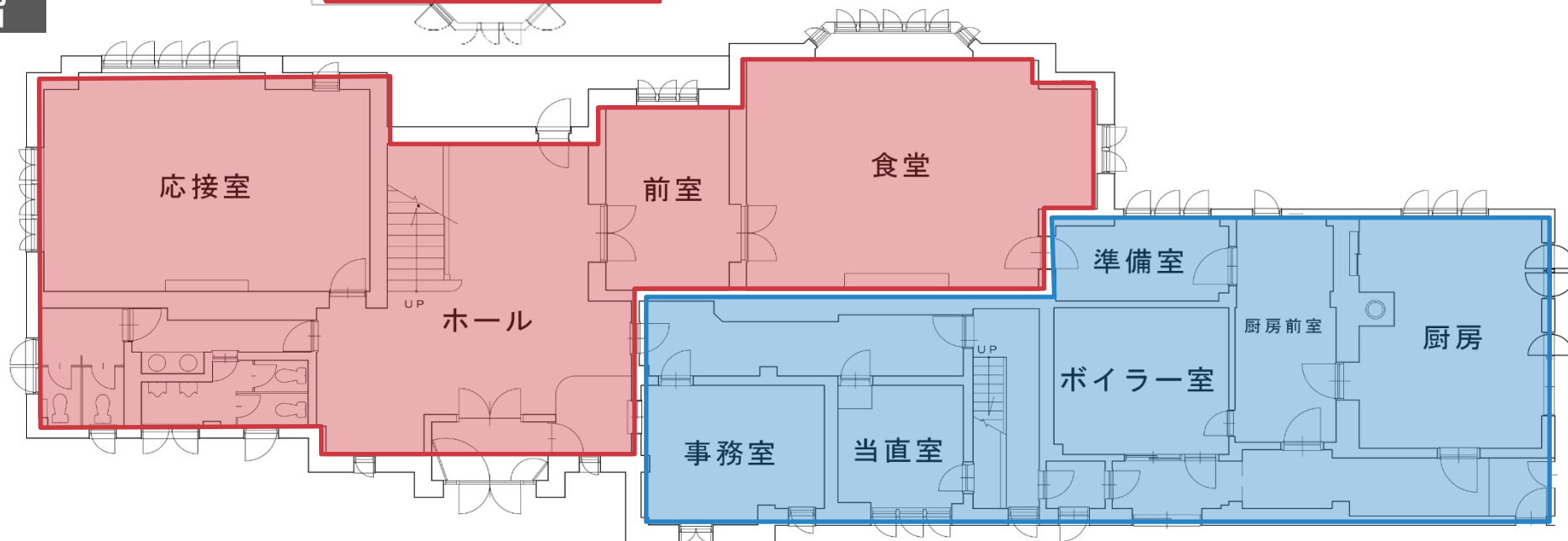


知事公館の更なる活用(行政利用・一般公開)を図るための方策検討  
文化財の価値を踏まえた必要な整備、公開・非公開エリアの区分

## 2階



## 1階



## 行政利用



1階 応接室の利用  
(15人程度(56㎡))



2階 大会議室の利用  
(20~30人程度(63㎡))



【参考】赤れんが庁舎2階 赤れんがホール  
(50人以上(224㎡))

## 一般公開



1階 食堂



2階 応接室



2階 展示室

## 課題

### 【行政利用】

- 迎賓対応にふさわしい応接室が必要
- 行政利用時に一般公開ができていない

### 【一般公開】

- 内部を見学できる機会が限定的
- 知事公館の歴史や展示品の説明が不十分
- 豊かな緑地を更に感じてもらう工夫が必要
- 身体の不自由な方が2階を観覧できない



迎賓・応接機能の確保と一般利用者を増やすため、活用の方向性の検討が必要

## 検討事項

### 【行政利用】

- 道の歴史・文化を感じられる応接室の確保
- 迎賓機能に必要な整備のあり方
- 一般公開と両立可能なエリア分けと導線の確保

### 【一般公開】

- より利用しやすい開館のあり方
- 効果的な展示のあり方
- 知事公館・緑地の魅力が伝わる見学導線
- 施設のバリアフリーのあり方

